

江興民の自己紹介

中国の唐山生まれ、唐山育ち、義理と人情を重んじる唐山人で、医者・ディレクター・産業人・政府職員・弁護士など分野の異なる経験と資格の持ち主です。

医者として病院勤務の傍ら独学で日本語を習得、医学文献の翻訳を手掛けるなか古典に目覚め中国言語文学を研鑽し学士号を取得、その後唐山市放送局のディレクターを務めるなどユニークな経歴が、中国の政府・社会・人情・文化・歴史に対する見聞と理解を深めるのに大いに役立ったと思っています。中国人の心象・考え方・行動様式を熟知し、中国政治・経済・法律関係の知識と経験も多少蓄積できています。

1994年、産業人へ変身し、松下電器の現地法人である唐山松下産業機器有限公司の合併交渉段階から参画し、その後、小林初代総経理（現中国唐山市人民政府日本事務所所長）のサポート役として、合併契約締結・会社設立・立ち上げ・販売網構築・会社運営全般・中国業界トップ企業への発展を経験してきました。日中双方投資者・日本人総経理と中国人副総経理・日本人幹部と中国人従業員・会社と政府・会社と代理店及び顧客との掛け橋として、唐山松下の発展の一翼を担ったと自負しています。

2001年に唐山市人民政府の招聘を受けて唐山市人民政府日本事務所副所長に着任しました。日本文化に対して更なる理解を深めるため、日本の大学院に入り、過去の経験と知識を活かし、日本企業の中国進出に伴う文化の違いによる摩擦などを研究し人文学修士号を取得しました。

医者時代に日本の大学病院で長期研修の機会があり、活きた日本語を学びました。1987年に全中国の日本語翻訳コンテストで一等賞に入賞。日本語でのコミュニケーションには特に支障がないと考えます。

中国進出日系企業に、より良いサポートを提供するために、仕事の傍らで法律を自習し、2008年度の中国国家司法試験に合格し、弁護士資格を取得しました。

今後ともお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。